

ひがしの

平成10年5月1日発行

水晶の 念珠に映る 若葉かな (茅 舎)

新緑のみなぎる五月となりました。
さわやかな風の中で、若葉が揺れています。
緑湧く山々は、光り輝き目にまぶしく、
萌黄の季節を実感します。

毎日のあたたかいとなみの間に、
季節はこんなにも優しい姿を誰にも平等に見せてくれます。
いくつになっても、「母の日」は母を思いやりたいものです。



◎平成10年度前期 東野公民館 教養講座生 募集についてのお知らせ

募集期間は4月27日まででしたが、まだ、受講ができる講座が多くあります。
■印は募集が完了。
◎印はあと数名応募が可能、●印は10名程、可能です。
ご応募を期待しています。

季節を楽しむ園芸 ●	生活を彩るやさしい水墨画 ◎	書道 ●
いきいき体操 ◎	アートフラワー ◎	手作りパンとお菓子 ■

♠社会教育活動団体の紹介

次のグループが社会教育活動団体として、いきいきと地道に継続的に活動しています。

- | | | | |
|--------|----------|-------|--------------|
| ・大正琴 | ・花無山俳句会 | ・水仙書会 | ・マーガレット会（華道） |
| ・東雲俳句会 | ・東野歴史研究会 | ・大極拳 | ・東野ささゆり会（民謡） |
| ・きり絵 | ・油絵 | | |

公民館を去るにあたって

松本 広英

私が昭和六十一年の春、十一年ぶりにこの東野に帰ってきた時には、私達を通った保育園や小学校をはじめ周辺の建物はすべて新しく立て替えられ、公民館も生涯学習時代にふさわしい充実した施設が出来上がっていました。

その三年後に公民館勤務の話を戴きました。

社会教育や、公民館事業に関する知識も経験も皆無に等しく、当初はどうしてよいのかわからない様な状態でありましたが、ありがたい事に公民館運営審議委員の方をはじめ各種団体の方、住民の皆様の指導やご協力をいただくことにより、順に講座や文化祭、歌舞伎、青少年育成、生涯学習等、数多くの事業を開催することができました。

これは偏に皆様の文化活動に対する熱意と心温まるご支援のおかげでありました。

本当に素晴らしい体験と勉強をさせていただくことができました。

公民館職員としては未熟であり、皆様にはご迷惑をおかけすることが多くあったことをお詫びし、心より感謝を申し上げます。

公民館活動も時代とともに変わっていきます。

先月、当公民館において「心のふるさと音楽祭」を開催しました時に、ハーモニカ演奏者の石川澄男先生は「水戸黄門の歌詞の三番に、何にもしないで生きるより何かを求めて生きようよ、というところがあります何かを求めていきる姿はすばらしく、そういう方に出合ふと感激します。」とおっしゃいました。

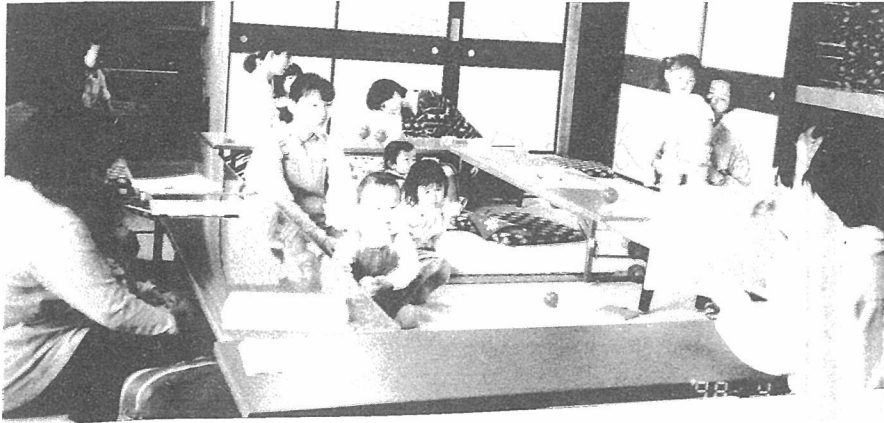
後半の合唱では、指揮者の遠藤孝夫先生が「合唱をするときにいつも申し上げることは、歌は心でうたうものであって、もちろん技術の上達も大事ですが、その中心が入っていないと人を動かすような、あるいは自分が感動するということはありません。」といってみえました。

音楽だけに限らず「何かをやってみよう」という自らの生きがいづくりと、技術や物質的な豊かさだけにとらわれない心を大切にしたい地域づくりが、これからの時代の公民館活動ではないかと思えます。

末節になりましたが、ご指導、ご鞭撻を賜りました皆様に心から厚くお礼申し上げますと同時に東野公民館の益々のご発展をお祈りいたします。



東野4月行事・事の始から(1)



すくすくクラブ(乳幼児
学級)

少子化の中で大切な
子育て学び



ニューピカの入園児

14人

(21世紀には小学
2年生です)



ピカピカの入学児 14人
(しっかりと自己表現ができました)

東野4月行事

事の始まりから(四)



切り絵
楽しそうな講師と受講生
帰る時も話題が一杯



大極拳は私たちに
何よりの生き甲斐。
健康祭に出場します。

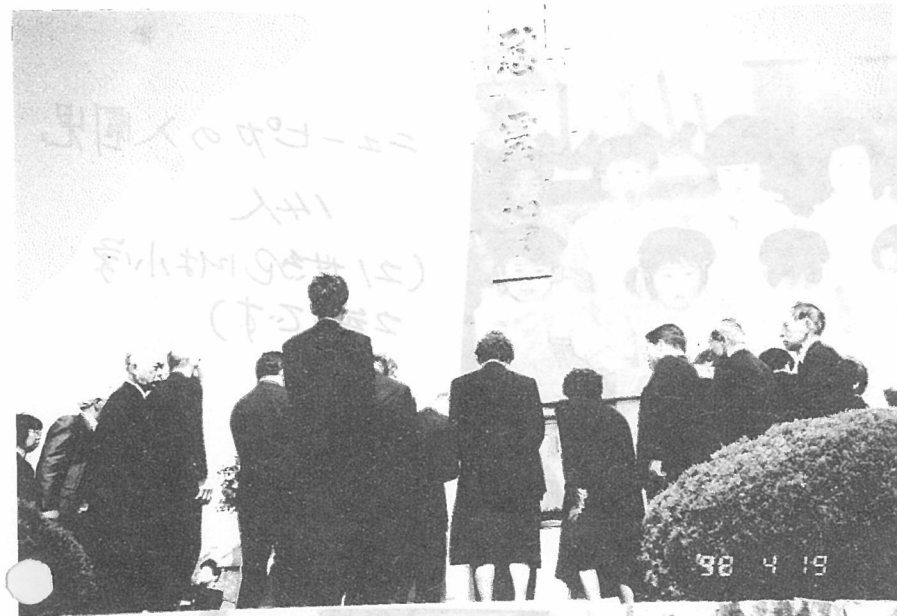


民謡
発表を目前にして、
真剣な仕上げ練習



平成10年度生涯学習作品展へ出品
フランス人形

エ方ちかゑ 作



慰雨祭
4月19日



愛林祭
4月19日
(別載)

東野愛林祭が、四月十九日に実施されました。
次の文は、二十年前に建立されました愛林碑の裏に記された貴重な文献です。
ご覧になって愛林精神の一助にされることを願います。(以下原文掲載)

東野林業の沿革と伝統



藩政時代東野村は岩村藩に属し、地頭加藤氏歴代により統治され全山百姓山として共同利用が認められ、村中入会地として利用されていた。元禄十年及び貞享三年におきた山論争宝永五年の保古山大論争には安田善左衛門氏の犠牲によって江戸奉行所の裁決となり、現在の山境が確認されました。文政二年割山制を実施して保古山一帯は薪家の用材、馬草萱の採取を目的とし、大輪内と称する里山は農耕用の肥料源として個人に分割して利用されていた。

天保年間に至り古木鬱蒼たる保古山は三昼夜に亘る大火災によつて焼きつくされた。これが為荒廃其極に達し全村の山林は無立木地と化するに至った。その後災害、凶作が頻発し村財政は極度に逼迫をきたした。ここに於て先覚者市川権右衛門氏外、西尾市兵衛、伊藤武右衛門両氏は明治十三年字洞沢の二反歩に杉苗の植栽をした。これが当村造林の始まりである。ついで同十五年戸長伊藤善兵衛氏の発起により村有林八反歩に杉松の植栽をしたが、其の成績優良により当時の内務卿より表彰を受けた。治山こそ村政であるとの自覚にたち明治二十九年荒廃林地対策として八種木の禁伐制度を設け、全村民の調印をとり天然林の造成を図ると共に一面学林として杉松の造林を行う事とした。

明治三十七年集中豪雨により大災害を受けて益々森林の重大さを自覚した。明治四十年金原明善翁が来村され採草地を見て慨嘆、私財二十円を投じ境洞南深沢に五反歩づつ杉の模範造林をされた。同四十二年に再度来村され偉大なる哉山林の富の金言を残し、植樹の必要性を勧奨されて以来、東野村民の植樹熱は頓に高まり学校林、記念林、井水林が二十五町歩植栽された。明治四十五年東野村基本財産管理規程が議決され、県の助成を得て大正二年から同十一年までの九力年間の施業計画を立て村民総賦役により毎年二十一町歩の造林をした。昭和九年第二期施業計画を立て、造林を行い人工林は急速に伸びた。

過去の歴史と先輩の偉業を継承し保続生産を行う為昭和四十六年法人組織である東野生産森林組合が設立された。昭和五十一年度に小学校、同五十二年度に公民館の建設に当り、巨額の負担金を先祖伝来の山林資源により賄はれ新築を見る事が出来た。

ここに先祖の偉徳に感謝し愛林精神を伝う可く記念碑を建立する。

昭和五十三年十月吉日

東野生産森林組合

あいさつと感想

新館長 伊藤 明

40年ぶりに東野へ舞いもどりしました。

いわゆる混迷の時代の転居でしたので、様々な戸惑い、困惑、未知なことへの手探り、人を知ることの魯鈍さなどに出っくわすことの連続です。

しかし、1日でも早く公民館活動の在り方に慣れ、少しでも多くの方に活動しやすい状況をつくりだしたいと願っています。

この1ヶ月での若干の感想

- (1)事務所と併設なので、多くの方が事務所と公民館へ訪問されるということ。
- (2)講座へ来ている方たちに目の輝きがあるということ。作り上げる、自ら学ぶことの喜びが伝わってきます。
- (3)青少年育成会議をしたとき、小学生には働きかける活動内容があるが、肝腎の中学生にはなかなかないのは問題である。心身ともに発達途上の彼らに「心を温かに揺らぎ」を生じさせる素材を私たちは提供するときだと思いますが・・・
- (4)東野幼稚園へあいさつに行ったとき、先生たちが異口同音に「お母さんたちが園に対して実に協力的で素晴らしい親です。」の言葉に力強いものを感じました。
少子化の進む中で、その少子の母親が我が子を甘やかさず、叱ってばかりでなく「千の子どもに千の花」の子育てをしようとしてみえる様子が窺えました。
- (5)地歌舞伎の役員の三方が2度にわたって訪館されました。伝統芸能を守り・育成し、世代交流を図ることによって、地域づくりに繋げようとされることの熱意を痛感しました
- (6)或る言葉「人生、自分さがしの旅・他人さがしの旅」
- (7)公民館、ほやほやの私に「ご苦労様やね、久しぶりで大変やけど、よろしく頼むに」などと、励ましを受けることしばし。よろしくお願いします。

お知らせ・お願いコーナー



1. 市一斉の「ふれあいクリーン活動」にご協力を！！（5月31日（日））
ゴミゼロ化を目指し、市をあげて青少年の意識を高めるために親子3代にわたって活動しようというものです。詳細は自治連合会回覧にて
2. あるボランティア活動
東野スポーツ少年団23名（小学校3年～6年）で愛林祭の前に、愛林碑周辺の清掃をするという美しい心が漂っていました。
3. このスポーツ少年団の部員を只今募集中です。毎土曜日の練習で、1つのスポーツだけではなく、少年少女時代に数種のスポーツに親しませるのが1つの目的です。
4. 各公民館には、パソコンが設置されています。インターネットも利用できます。
9：00～5：00までが利用時間です。インターネット使用の場合には、公民館へ申し出て、パスワードを挿入してもらってください。
5. どうだん文庫（市図書館の巡回本です）2ヶ月に1回入れ替わります。どうか、ご利用を！本のリクエストもできます。
6. 「ふれあい音楽会」「地歌舞伎ビデオ」を借りる方があります。どうか、ご視聴ください。
7. 乳幼児学級開催時の乳幼児の世話をしてくださるボランティアを募集しています。
詳しくは、公民館まで。

平成10年度 5月・6月 東野行事予定

昨年度まで、東野青少年健全育成会議から行事カレンダーを各戸配布していましたが、年度途中のため、利用度が少ないなどの理由で、2ヶ月または3ヶ月ごとに「公民館だより」からお知らせすることにしました。それぞれの団体で行事予定に入りたい場合には事前にお知らせくださると幸甚です。

5 月	1 (金)	恵那市施設見学 (東野東雲会く老人クラブ) 自治会男女役員)
	15 (金)	東野青少年育成会議総会・研修会
	17 (日)	クリーン作戦 (ボランティア)
	19 (火)	東野 行政視察及び地域懇談会
	21 (木)	不燃ゴミ収集日
	24 (日)	資源回収 (中学校)
	24 (日)	東濃スポ少 春の交流会 (ウオークラリー) 瑞浪市会場
	26 (火)	交通安全教室 (小学校)
	26~29	自然教室 1年生 恵那山荘 (中学校)
	29	3年生 高山研修 (中学校)
	30 (土)	家族ふれ合い学級 (幼稚園・小学校)
	31 (日)	市一斉「ふれ合いクリーン作戦」7:30~ 各自治会
	(5月)	東野 花壇づくり (東野東雲会)
	(毎月)	根の上高原・キャンプ場などの清掃活動 (東野東雲会)
6 月	3 (水) 4	修学旅行 (小学校)
	5 (金)	保育参観 (幼稚園)
	7 (日)	恵那市健康祭
	7 (日)	かんぽ東野マレットゴルフ大会 (主催郵便局・協賛東野MGC)
	14 (日)	恵那消防協会操法大会 蛭川中会場
	14 (日)	恵那市スポ少 交流会 (野球の予定) まきがね公園
	17 (水)	クリーン作戦 (ボランティア)
	18 (日)	不燃ゴミ収集日
	20 (土)	少年の主張大会 東中学校会場
	20 (土)	第9回インディアカ大会午後6:30東野小体育館
	21 (日)	市民体育大会陸上競技会9:00開始榎ヶ根グラウンド
		積極的、ご参加を願います
	下旬	下刈り作業 (東野生産森林組合)
	(6月)	青空教室 (農協)

争洗物 消干してあるやま子 夜寒か
見御つけたる 春つ水松は一本光る 陽に焼けて
く乗ず餅遅のれ 歩づる西尾やすすきよ秋桜 秋暑し
初霜桜に モーデルに枯れ美恵子 根かな
小揺豆れ干す木 筵竿にゆ藤きせと 柿を挽ぐ
色再毎にの 種子の温袋に 秋十夜
曼火珠を沙華けし 旧家竿市高川土 堀坊のひみ 残る虫焼く
菊太の鼓香もつ 肴七と市恵川りて 茶の山 一人酒りくじ
見縁て側にし 陽光豆野足 受ける いさむ 孫魚の草顔
団腰叩をく 混刈へ田丸の農夫のは瑞月 誰の父道
夜初釣詣の 五灯十川鈴面にも藤ゆ泳れてぐろみ 光りにけり
今毬生はなれ 月見別とれ鈴木ふれはの抱風子 大三ッ衆かな

花無山句会